非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤
高尿酸血症治療剤

Feburic フェブリク®錠 10mg 20mg 40mg

小児の「痛風、高尿酸血症」に対する用法及び用量の追加承認のご案内

このたび、高尿酸血症治療剤「**フェブリク®錠**」に、小児の「痛風、高尿酸血症」に対する用法及び用量が追加承認されましたので、ご案内申し上げます。

2023年6月

記

1．対象品目

フェブリク®錠 10mg
フェブリク®錠 20mg
フェブリク®錠 40mg

2．内容（電子添文抜粋）

＊下線部改訂

6．用法及び用量	**＜痛風、高尿酸血症＞** 成人 通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。 小児 通常、小児には体重に応じてフェブキソスタットとして下記の投与量を1日1回経口投与する。 体重40kg未満：通常、1日5mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回20mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回30mgとする。 体重40kg以上：通常、1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。

→裏面に続く

7. 用法及び用量に関連する注意	**＜痛風、高尿酸血症＞** 7.1 成人：尿酸降下薬による治療初期には、血中尿酸値の急激な低下により痛風関節炎（痛風発作）が誘発されることがあるので、本剤の投与は10mg 1日1回から開始し、投与開始から2週間以降に20mg 1日1回、投与開始から6週間以降に40mg 1日1回投与とするなど、徐々に増量すること。なお、増量後は経過を十分に観察すること。［8.4、17.1.1-17.1.3 参照］ 7.2 小児：尿酸降下薬による治療初期には、血中尿酸値の急激な低下により痛風関節炎（痛風発作）が誘発されることがあるので、本剤の投与は体重に応じて5mg（40kg未満）又は10mg（40kg以上）1日1回から開始し、投与開始から6週間以降に10mg（40kg未満）又は20mg（40kg以上）1日1回、投与開始から14週間以降に20mg（40kg未満）又は40mg（40kg以上）1日1回投与とするなど、徐々に増量すること。なお、増量後は経過を十分に観察すること。［8.4、17.1.4 参照］

●詳細は最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

以上

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社　帝人ヘルスケア株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
文献請求先及び問い合わせ先▼
メディカル情報グループ 0120-189-315
https://medical.teijin-pharma.co.jp/

医薬品 PRN575-AU-2306
2023年6月作成